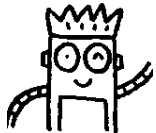


## あしおこうどくじけん 「足尾鉍毒事件」は、どんな事件だったの



明治時代の中ごろに、足尾銅山の鉍毒によって発生した公害が社会問題となった事件だよ。

### 足尾銅山の鉍毒による公害が発生した

栃木県北西部にある足尾銅山は、1877年に明治政府が古河市兵衛に払い下げから、開発が進み、銅鉍の生産量が増えました。まもなく、銅山の排水中の鉍毒によって、渡良瀬川の魚が死んだり、川沿いの畑の農作物がかれたりしました。1890年8月には、渡良瀬川の大洪水によって、栃木県・群馬県の8か村の田畑が、鉍毒によって汚染されました。翌年、国会の衆議院で、田中正造がこの問題を取り上げましたが、政府側は、まったくやる気を見せなかったのです。

### 川俣事件が起こり、田中正造の直訴が失敗した

1896年9月の大洪水で、利根川の流域までもが被害を受けると、被害者の農民や知識人などの間で、「足尾銅山の仕事をやめさせよう」という運動がさかんになりました。翌年から、農民が集団で東京に行って、政治家に直接にうたえるようになりました。1900年2月、群馬県川俣村で、東京に向かう農民たち5000人に、警官隊がおそいかかって大乱闘となり、68人が逮捕されました。翌年10月、田中正造は衆議院議員をやめ、12月に、明治天皇の行列にかけこんで、天皇に直接にうたえようとしたのですが、失敗しました。

### 遊水池をつくるために、谷中村がつぶされた

1904年12月の栃木県議会で、渡良瀬川のはんらんを防ぐため、栃木県の南のはしにある谷中村をつぶして、遊水池にする計画が決まりました。田中正造は、村民といっしょに反対運動を続けましたが、1907年6～7月に、最後に残った家16戸が強制的に取りこわされ、谷中村はなくなりました。

**ことばの意味** 遊水池 川のとちゅうに設けられる池で、洪水のときに水の一部をためて、そこから下流の水の量を減らすことを目的とするもの。